

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

白山市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

石川県白山市

3 地域再生計画の区域

石川県白山市の全域

4 地域再生計画の目標

【地域の現状及び課題】

(地理的及び自然的特性)

白山市は、平成 17 年 2 月 1 日に 1 市 2 町 5 村が広域合併して誕生した自治体で、県内最大の面積 (754.93 km²) を誇っている。県都金沢市に隣接し、日本三名山の一つ白山から日本海まで、そしてそれをつなぐ一級河川手取川流域に広がる扇状地を含む広大な市域は豊富な自然と美しい景観に恵まれており、かつ、地域ごとに独特の伝統文化や生活様式が色濃く残されている。

(人口)

本市の人口は、平成 22 年の 110,459 人をピークに減少しており、109,287 (平成 27 年国勢調査結果) まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、令和 42 年には、平成 27 年比で総人口が約 70%となる見込みである。

人口の減少は出生数の減少(自然減)や、大学等の進学などから若者が市外へ流出(社会減)したことなどが原因として考えられる。

(第 1 期地方版総合戦略の取組)

本市では、第 1 期地方版総合戦略を推進し、基本目標の成果指標では、「観光入込客数」等を除き達成見込みとなっている。特に人口に関しては、社会増減で転出超過から転入超過に転換した。しかしながら、出生数は減少している

ことから、引き続き若者をはじめとした移住を推進する必要がある。観光・交流人口については、北陸新幹線の開業効果や道の駅の新設等により賑わいを見せたものの、商業施設の閉館も影響し、目標が未達成となっており、日本版DMOに登録された白山市観光連盟等との連携・協働や広域観光等のさらなる取り組みが必要となっている。

【基本目標】

上記の課題に対応するため、下記の4つの基本目標を掲げ、本市の魅力を最大限に活かし、企業誘致をはじめ、土地区画整理事業の促進や、移住・定住施策による転入者の増加や転出者の縮減など、各種施策・事業を推進することで人口減少の抑制を目指す。

- ・基本目標1 商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」を目指す
- ・基本目標2 白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」を目指す
- ・基本目標3 安心して子どもを産み育て生涯活躍できる「健康・福祉・教育」を目指す
- ・基本目標4 平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」を目指す

【数値目標】

5-2の ①に掲げる 事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R6年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内従業者数(累計)	54,992人	55,900人	基本目標1
	女性の就業率	53.3%	54.6%	
イ	人口の社会増減数(累計)	511人	2,500人	基本目標2
	観光入込客数	4,850,567人	5,200,000人	
ウ	合計特殊出生率	1.59	1.67	基本目標3
	健康寿命(平均自立期間)	男性 80.4歳 女性 84.8歳	男性 80.6歳 女性 85.0歳	

	要介護・要支援者の割合	16.7%	18.4%	
エ	住み良いと感じる市民の割合	72%	72% (現状維持)	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

笑顔があふれ、人・自然・産業が元気なまちづくり事業

ア 商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」を創出する事業

イ 白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」を創出する事業

ウ 安心して子どもを産み育て生涯活躍できる「健康・福祉・教育」を創出する事業

エ 平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」を創出する事業

② 事業の内容

ア 商工業の集積と農林水産資源を活かした「仕事・雇用」を創出する事業

既存の産業基盤を活かすとともに、伝統産業や商店街の活性化、中小企業などの育成・支援のほか、観光地経営の視点に立った観光事業者との協働による観光産業の推進を産学官民の連携により、多様で付加価値の高い産業の集積を促進することで、新しい「しごと」（雇用）の創出を図り、市民（特に若者や女性）の働く場の確保と安心して働ける環境の創出を目指す。

<重点的な取り組み>

・ 6次産業化の取り組み支援

・創業支援の推進

・企業誘致の推進

等

イ 白山から日本海の豊かな自然と歴史・文化を活かした「観光・交流」を創出する事業

本市が有する地域資源にさらなる磨きをかけつなぎ合わせることで、白山ブランドの確立を図るとともに、積極的なシティプロモーションの推進による観光・交流人口のみならず、関係人口の拡大を図ることにより、新しい「ひと」の流れを創出し、転入者の増加と転出者の縮減を目指す。

<重点的な取り組み>

・(仮称)白山総合車両所ビジターセンターの整備

・高等教育機関との連携による Society5.0 等を活用した地域産業の振興

・地域と多様に関わる関係人口の拡大

・白山の魅力拡大

・市外からの定住者への住宅購入費等の支援

・土地区画整理事業による宅地の整備促進

等

ウ 安心して子どもを産み育て生涯活躍できる「健康・福祉・教育」を創出する事業

結婚・妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援するとともに、若い世代の仕事と子育ての両立や高齢者や障害者を含め、地域のつながりと支え合いの中で、誰もが活躍できる環境づくりを推進することで、人生100年時代に向けた暮らしの質(QOL)の向上や「健康都市 白山」の実現を図る。

<重点的な取り組み>

・女性の活躍の場の創出

・共生のまちづくりの推進

・健康寿命の延伸に向けた取り組みの推進

・子育てに関する切れ目のない支援

・若年層の新築住宅の購入への支援

・新婚者への家賃補助

・三世代同居・近居の支援

等

エ 平野部と白山ろく地域の安全・安心な暮らしを守りつなぐ「都市・地域」を創出する事業

平野部から白山ろくに広がる特色ある地域特性を守りながら、将来的な人口減少及び高齢化などの時代の変化による多様化する地域や社会の課題解決に向け、地域間及び広域的なネットワークの強化や多様な主体の連携と協働により、白山ろく地域の活性化や市民が地域に誇りを持ち、安全で、安心して暮らし続けることができる「まち」づくりを展開する。

<重点的な取り組み>

・新たな地域コミュニティ組織による市民協働で創るまちづくりの推進

・公共交通の利便性の向上

・空き家対策の推進

・連携中枢都市圏の推進

等

※ なお、詳細は、第2期白山市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7～8月頃に外部有識者による効果検証を行う。検証後、市議会に報告し、速やかに公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

5-3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで